

平成22年8月5日

平成22年度 燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査 (第8回 8月上旬分)

香川県水産試験場 環境資源部門(山本)
TEL 087-843-6511/ FAX 087-841-8133

○カタクチイワシ卵の出現状況

前回より増加した。平年値より少なかったが、前年値より多かった。

前年	平成21年8月4日	(7点の平均)	0.0 個
前回	平成22年7月15日	(17点の平均)	8.8 個
今回	平成22年8月3日	(7点の平均)	18.1 個

○カタクチイワシ稚仔魚の出現状況

前回より増加した。平年値と同程度で、前年値より多かった。

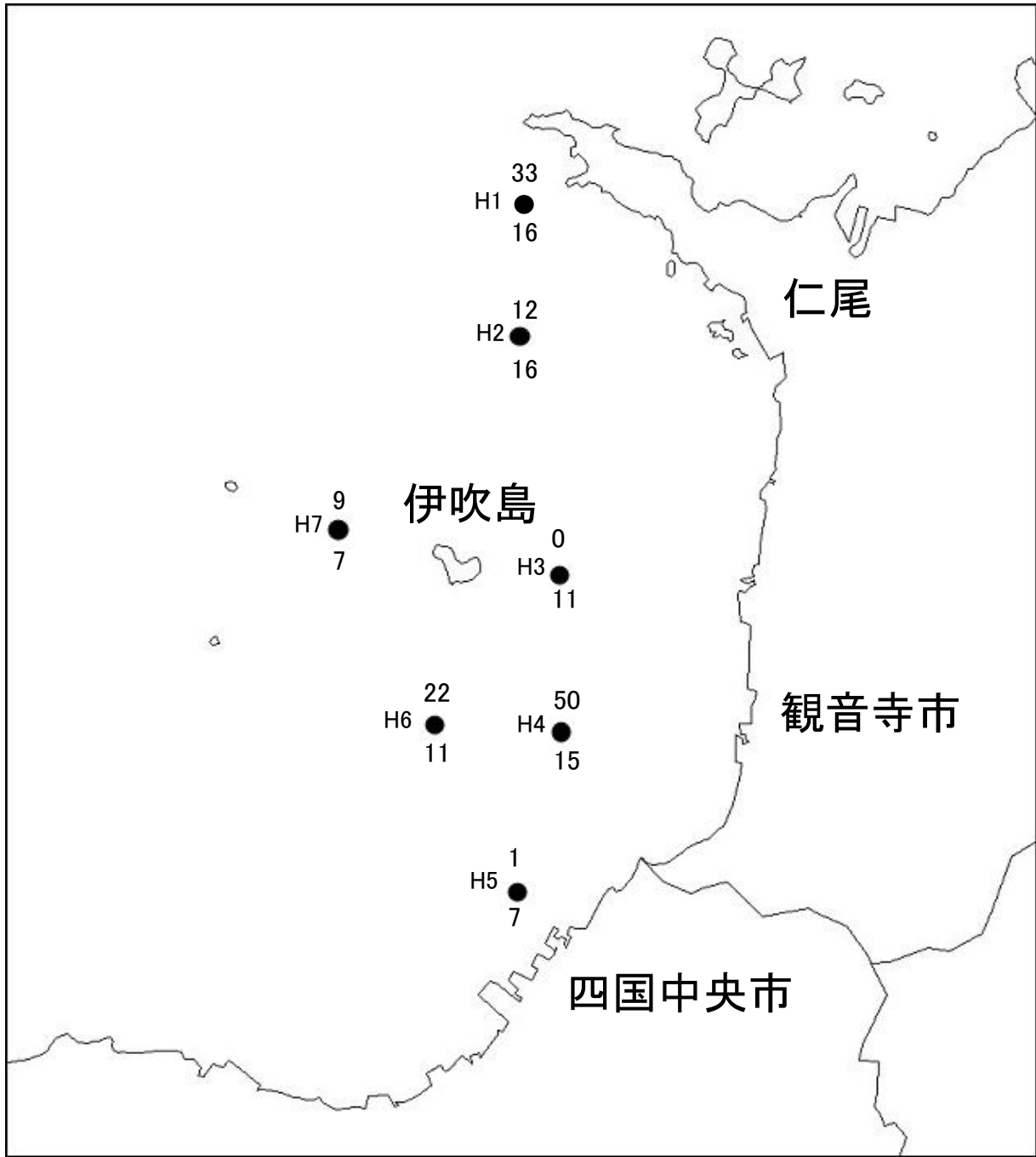
前年	平成21年8月4日	(7点の平均)	1.4 尾
前回	平成22年7月15日	(17点の平均)	0.9 尾
今回	平成22年8月3日	(7点の平均)	11.9 尾

○プランクトン調査

プランクトン量は平年並みで、優占種はノクチルカ(夜光虫)とミジンコ類であった。餌として重要なカイアシ類の量は平年並みであった。

次回の調査は8月19日(木)に実施予定。

カタクチイワシ卵稚仔採集状況(8.3)



●の上側がカタクチイワシ卵数,
下側がカタクチイワシ稚仔魚を
示す。いずれも1曳網当たりの数

21 ← 卵数
●
5 ← 稚仔数

